

【主な出来事】

- オルバン・ルーマニア首相は、キク政府は信用しうるパートナーではないと発言した。
- 世銀は、モルドバの2020年の経済成長率が2.6%になるとの予測を発表した。

1. 内政

▼世論調査結果

- ・6日、公共政策研究所は世論調査結果を発表した。同調査結果によれば、65.9%がモルドバは間違った方向に向かっていると答えた。
- ・最も重要な課題としては、貧困、物価、子供の将来、汚職、失業が挙げられた。
- ・信用できる機関としては、教会と答えた人が73%、市役所58%、メディア51%、軍43%、大統領43%、警察39%、銀行38%。
- ・最も信用できる政治家については、ドドン大統領と答えた人が37.3%、サンドゥPAS党首30.3%、チェバン・キシニョフ市長25.1%、グレチャヌ議会議長25.1%、ボローニン共産党党首20.6%、ウサトゥイ我らの党党首20.3%、ナスターセDA党首19.6%。
- ・政党支持率は、社会党27.6%、PAS17.5%、民主党7.4%、DA3.3%、ショール党2.9%、共産党2.9%、我らの党2.5%。

▼行政機関における汚職の実態調査

- ・9日、NGOのTransparency Internationalが行った調査が発表された。調査結果によれば、13の行政機関の24.9%の職員が自分の職場で汚職があると回答した。税関職員の48%、国境警察職員の45.8%が汚職があると回答。同様に財務省では8.2%、保健省は8.3%の職員が汚職の存在を認めた。

▼ドドン大統領、2020年の優先課題を発表

- ・9日、ドドン大統領は2020年の優先事項として以下8項目を挙げた。
- ーインフラ整備
- ー不正銀行送金事件から生じた負担の軽減
- ー社会保障の充実
- ー経済セクターへの支援拡大
- ー地方での産業プラットフォームの立ち上げ
- ー市民の安全確保
- ーあらゆる規模での汚職対策の実施
- ーバランス外交の実施

▼社会党、2020年の優先課題を発表

- ・14日、社会党は、2020年の優先課題として以下を発表した。
- ーモルドバの主権国家の強化
- ーモルドバの中立性の保証

- ー発展した経済と社会的平等の確保
- ー福祉と教育の質の向上
- ー地域の発展
- ー民族間の平和の実現
- ー正教と伝統的家族の維持
- ーバランス外交の実施

2. 外政

▼米国務長官、プラホトニク前民主党党首の汚職関与を認める声明を発表

- ・13日、ポンペオ米国務長官は声明を発表し、プラホトニク前民主党党首は大きな汚職に関わっていたとし、その汚職行為によってモルドバにおける法の支配が脅かされるとともに民主的機関の独立が損なわれることとなったとした
 - ・これに対し、ドドン大統領は、この米国務省の発表はモルドバの法執行機関の成果であり、モルドバ政府が重ねて要求した結果であるとし、米国の関係諸機関に謝意を表した。
 - ・また、サンドゥPAS党首(前首相)は、米国に謝意を表しつつ、遅かれ早かれ国民に対する犯罪行為は裁かれることとなる旨述べ、ドドン大統領に警告した。
- ### ▼ルーマニア首相、キク政府は信用できないと発言
- ・8日、オルバン・ルーマニア首相は、訪問中のブリュッセルにおいて、モルドバにおける政権の交代とそれ以降に生じた事態は「後退」であり、キク政府は信用しうるパートナーとは認められない旨発言した。

3. 経済

▼世銀、モルドバの2020年経済成長率を2.6%と予測

- ・8日、世銀の「世界経済予測 Global Economic Prospects」は、モルドバの2020年経済成長率を2.6%、2021-2022年を3.8%と予測。
- ・また、モルドバは、国有企業がGDPの3分の1を占め、効率的な規制、マネージメント改善、コーポレートガバナンス及びビジネス環境を整えれば、民営化が引き続き経済成長を促進すると指摘した。

▼世界旅券ランキングでモルドバ旅券49位

- ・8日、ヘンリー&パートナーズ公式世界最強旅券ランキングでモルドバは世界49位、無査証で渡航できる国は120カ国。日本は2年連続で1位、191カ国で渡航可。

▼2019年末の外貨準備、30.6億ドル

・9日、モルドバ国立銀行は、2019年末にモルドバの外貨準備が30.6億ドル記録したことを発表。年初よりも65百万ドル増。内訳は、証券16.85億ドル、モルドバ国立銀行及び内外の商業銀行の預金13.7億ドル等。

▼2019年11月末の公的債務、30.47億ドル

・11日、財務省によれば、2019年11月末のモルドバの公的債務総額は524億レイ(30.47億ドル)に達し、年初から384.5百万レイ(22.35百万ドル)(0.7%)増。
・増加内訳は、対外公的債務351.7百万レイ(20.45百万ドル)(1.2%)増、国内債務32.8百万レイ(1.9百万ドル)(0.1%)増加によるもの。

▼国営企業の3分の1が赤字経営

・12日、民間シンクタンク IDIS Viitorul は、モルドバ国営企業の3社に1社が赤字を記録しており、その状況は年々悪化していると発表。2018年の黒字の国営企業の割合は、2017年の62.6%から60%に減少し、純利益は2017年の150百万レイ(8.72百万ドル)から2018年の15百万レイ(87万ドル)に減少した。国営企業の平均収益率は0.23%。
・2018年の赤字国営企業は、モルドバ国営鉄道(73百万レイ、4.24百万ドル)、マルクレシュティ国際空港(20百万レイ、1.16百万ドル)、出版社「ユニバーサル」(10百万レイ、0.58百万ドル)。
・黒字国営企業は、モルドエレクトリカ(29百万レイ、1.69百万ドル)、モルドバ郵便局(20百万レイ、1.16百万ドル)、キシニョフ・ガラス(13百万レイ、0.76百万ドル)、コステシュティ水力発電所(12百万レイ、0.7百万ドル)。
・国営企業の債務も2018年末時点、60億レイ(3.49億ドル)を記録。
・モルドバには、2020の国営企業と86の国営合弁会社がある。

▼2019年12月のインフレ率、7.5%

・13日、国家統計局は、2019年12月の年間インフレ率が7.5%と公表した。

・2019年11月の消費者物価指数(CPI)は100.9%を記録。

・2019年には、果物52.4%、卵37.3%、野菜10%、乳製品7.9%の価格上昇が記録された。

▼2019年1～11月の貿易統計

・16日、国家統計局は、2019年1～11月の貿易統計を発表した。

・輸出総額は26億ドル、前年同期比3%増。輸出内訳は、機械・輸送機器23.6%、食品・家畜22.6%、非食原材料10.6%、飲料・たばこ7.8%、その他製品21%。輸出先は、EU65.7%、CIS15.8%。

・総輸入額は53億ドル、前年同期比1.2%増。輸入内訳は、機械・輸送機器24.3%、加工品19.7%、鉱物燃料15.6%、化学品14.7%、食品・家畜10.2%、その他製品10.8%。輸入元は、EU49.8%、CIS24.1%。

・日本への輸出額は1.7百万ドル、前年同期比15%増。日本からの輸入は46百万ドル、前年同期比7.2%減。対日赤字は44.3百万ドル、前年同期比7.8%減。

・貿易赤字総額は27億ドルで、前年同期比0.5%減。

4. 対日関係

▼草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式の開催ー令和元年度キシニョフ市第1児童病院医療機器改善計画

・14日、令和元年度の草の根・人間の安全保障無償資金協力「キシニョフ市第1児童病院医療機器改善計画」の署名式が開催された。同署名式には、ドンブラベアヌ保健・労働・社会保障相、チェバン・キシニョフ市長、カラン・チェア・キシニョフ市第1児童病院院長及び同病院医療関係者が出席した。

・今回の協力では、超音波検査装置等の同病院が必要とする医療器材の購入のため、総額57,240ドルの支援が行われる。

(了)